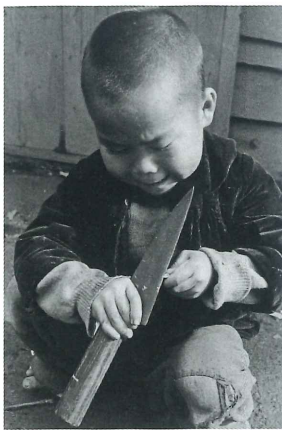


激動の昭和を独特のカメラアイで切り撮り、日本の写真界に大きな足跡を残した写真家・土門拳(1909-1990)。戦前、戦中、戦後、復興、高度成長と、日本社会全体が目まぐるしく変化していく中、強烈な個性とこだわりを持ち、一貫してそこに生きる日本人や現実社会を撮り続けました。同時に、古寺や仏像などを大型カメラで見据え、独特の美意識で、連続と続く日本人の心を追究し続けました。

発表された数多くの作品と土門拳の写真に対する考え方は、その時々社会に大きな影響を与え、日本の写真文化の形成にも大きな役割を果たしてきました。

この度、土門拳記念館の協力のもと、日本の写真を牽引してきた土門拳を紹介する共同巡回展を開催します。本巡回展では、写真界に大きな影響を与えたライフワーク『古寺巡礼』をはじめ、『風貌』、『ヒロシマ』といった巡回館の地域性にあわせた作品を選定し、直方谷尾美術館では『筑豊のこどもたち』に代表される作品群を含めた約120点の土門の代表作をご覧ください。



- 1.《子だくさんの炭住街(紙芝居)》1959年
 - 2.《サトル君》1959年
 - 3.《梅原龍三郎》1941年
 - 4.《懐中時計》1968年
 - 5.《中宮寺菩薩半跏像面相》1940年
 - 6.《平等院鳳凰堂夕焼け》1961年
 - 7.《平等院鳳凰堂の大棟鳳凰を撮影中の土門拳》1964年
- [撮影]土門拳(7を除く)
すべて土門拳記念館蔵

1	2
3	5
6	7

コロナウィルス感染症対策について
今後の状況によっては予定が延期・中止となる可能性があります。最新の情報はHPもしくはお電話にてご確認ください。



関連イベント

土門拳記念館学芸員・田中耕太郎氏による講演会
展覧会特別協力の土門拳記念館からゲストを招いて、土門拳の魅力について講演します。

講師——田中耕太郎氏(土門拳記念館学芸員)
日時——7.17日 10:30-11:30
場所——直方谷尾美術館
定員——50名
参加費——無料(ただし、入館料と事前申込が必要)

[撮影会]光と影を撮る会

美術館内を見学しながら写真家柴田ゆう子氏に場の雰囲気を生かした撮影をしていただきます。

講師——柴田ゆう子氏(写真家・日々撮影所主宰)
日時——7.31日 10:00-17:00
場所——直方谷尾美術館
定員——10組(1組最大5名まで)
参加費——1組3,000円(別途入館料が必要)
そのほか——撮影の所要時間は30分程度、撮影時間は申込の際調整します。

横浜美術館学芸員・大澤紗蓉子氏による講演会

本展覧会カタログの総論執筆者である大澤紗蓉子氏をお招きします。

講師——大澤紗蓉子氏(横浜美術館学芸員)
日時——8.7日 18:00-19:00
場所——直方谷尾美術館
定員——50名
参加費——無料(ただし、入館料と事前申込が必要)

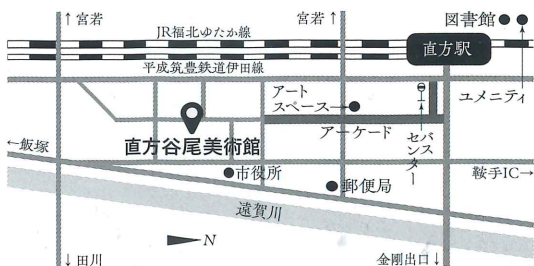
[ワークショップ]カメラを持って街に出よう!

親子を対象に、美術館周辺の街並みを撮影しに行きます。写真家四宮佑次氏に撮影した作品の講評や撮影のコツを伺います。

講師——四宮佑次氏(写真家・日本写真家協会会員)
日時——8.20日 21日 13:00-15:00
場所——直方谷尾美術館
定員——10組(1組2名)
参加費——1組2,000円(別途入館料が必要)
持ち物——デジタルカメラもしくはスマートフォン

関連イベントの申込は、美術館受付もしくは電話にて受付。
先着順・定員になり次第締切。

注意
■7.17日は、オープニング・講演会開催のため開館時間は12:00からです。
■8.7日は、17:00以降講演会の準備のため通常の鑑賞ができない場合があります。



交通案内
[公共交通機関]JR直方駅、平成筑豊鉄道直方駅、西鉄バス直方バスセンターから徒歩10分。[自家用車]九州自動車道鞍手ICから20分。北九州都市高速道路金剛出口から約17分。駐車場有(7台)。